

令和６年長浜市議会定例会
令和６年９月定例会月議会
閉会あいさつ

令和６年９月３０日

令和6年9月^{ていれいづき}定例月議会の閉会にあたりまして、一言
ごあいさつを申し上げます。

本定例月議会におきましては、一般会計補正予算や条例改正などの諸議案に対し、議員の皆様には慎重なご審議を賜り、いずれも原案どおりご議決・ご承認を賜り、厚くお礼を申し上げます。

それでは、閉会にあたり、4点の近況報告をさせていただきます。

まず、9月21日から続いた大雨により、石川県能登半島地域で甚大な被害が発生しました。この災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本市からも、湖北地域消防本部から緊急消防援助隊を三次にわたり派遣し、被災地の支援に尽力いただいています。一日も早い復旧を心より願っております。

この災害を教訓に、改めて防災意識の向上に努めてまいりたいと考えております。災害発生時の避難行動は、

状況によって異なりますので、市民の皆様には、事前に避難経路や避難場所を確認するとともに、安心・安全メールや公式 LINE など、市の防災情報を積極的に活用いただきますよう、改めてお願いいたします。

2点目は、「こども若者次世代住宅新築補助金」による移住・定住の推進についてご報告いたします。

今議会では、「こども若者住宅新築支援事業補助金」を「こども若者次世代住宅新築補助金」に改め、より多くの世帯が利用できるよう制度を拡充し、補正予算をご議決いただきました。

今後は、この補助制度を通じて、子育て世帯や若者夫婦世帯の移住・定住を促進し、本市の活性化につなげてまいります。新制度では、より幅広い世帯の皆様にご利用いただけるよう、対象範囲を拡大いたしました。関係者をはじめ、多くの方にこの制度を活用いただけるよう、丁寧なご案内を行ってまいります。

この補助制度は、市民の皆様の声を直接聞き、その意

見を政策に反映させた成果であり、今後も、市民の声に耳を傾け、政策に反映させてまいります。

3点目は、若者が主体となる「まちの文化祭」によるまちづくりについてご報告いたします。

9月14日から若者が企画・運営する「まちの文化祭」が開催されており、若者が「まちなかエリアのにぎわい創出」を目的に、アイデアを出し、予算や会場確保、関係者との調整、集客などに取り組みながら、事業を実現させる新たなプロジェクトが進んでいます。

9月下旬からは、県立大学の学生が描いた「若者が語り合う未来の長浜」をテーマにしたイラストが商店街の空き店舗のシャッターを彩り、まちに新たな活気をもたらそうとしています。

このイベントは、若者たちが主体的にまちづくりに関わる素晴らしい取り組みです。このような若者たちの創造性を支援し、今後もまちづくりを盛り上げていきたいと思っています。

最後に、秋のイベントについてご紹介いたします。

10月には、「アート・イン・ナガハマ」や「小谷城戦国まつり」、「観音の里ふるさとまつり」など、さまざまなイベントが開催されます。

特に、10月12日に新たに始まる「長浜^{きもの}kimono
アワード
AWARDS」は、若者たちが着物ファッションショーを企画し、地元の浜ちりめんなどの素材を生かした新たな発信を行うイベントです。ショーには、服飾系やデザイン系の学生が9校、17チーム参加されるほか、カルチャー講座では7講座、86名の方がご参加いただく予定です。

これらのイベントを通じ、歴史と郷土の誇りを未来へとつなげていきたいと考えています。議員の皆様にもぜひご参加いただき、取組を盛り上げていただければと思います。

結びになりますが、朝夕は涼しさを感じる一方、日中はまだ残暑が厳しい日が続いております。

議員の皆様におかれましても、くれぐれもご自愛いただきますことを祈念申し上げ、閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。